



衣笠祥雄選手や山本浩二選手が活躍していた強い時代は、テレビ中継にかじり付き、途中で終わったらRCCラジオでというくらいカープ、カープでしたね。つきなみですが、やはり衣笠、山本両選手はここ一番というときに打ってくれ、安心できた。また、今は亡き三村敏之選手は地道な努力が印象的でした。



職場でも飲みに行っても、話題といえばカープでしたよね、あのころは。最近では弱いし、取引業者さんが来ても話題にも上らない。最後に球場に行つたのは、08年の秋。社員全員で旧球場に別れを告げました。実はまだ新しい球場には行って

いないんです。申し訳ないなあと思います。やはり、広島に生まれ育ったからにはカープを応援せねば。広島復興の象徴がカープだと思いますし、私たちが盛り上げていかなくては。

野村謙二郎監督は選手時代、とにかく足が速くて、がむしゃらに戦っていたという印象がある。彼の采配はやはり気になりますね。どうしても経営者の目線で見えてしまいますが、まだ今は勉強の段階だと思えます。仕事と同じで、上司が部下を育てようとする、一生懸命だからこそ悪い所が目につく。そこを選手にどう伝えるか、どう指導するかで若手が変わり、カープが変わると思えます。もちろん強い方がいいけれど、野村カープを周囲がつぶしてはいけません。楽しませてもらいましよう。ハラハラし、楽しめたら広島全体も元気になるんじゃないでしょうか。わが社も、県内中心に展開するラーメンをはじめとした店を通じて、広島が元気になるお手伝いをしていきます。